

Singapore  
Investment  
News

シンガポールEDB 経済・投資ニュース

<http://www.singaporeedb.jp>

April 2010

特集 1 | Singapore Growth Strategies

経済戦略委員会 (Economic Strategies Committee, ESC)、  
新成長戦略を発表

政府の経済戦略委員会 (ESC) は、2月1日に、労働生産性の向上に重点を置いた新成長戦略を発表しました。生産性達成のため政府が取り組む主な戦略の中から、3つをピックアップして紹介します。

## 1. アジア地域のハブ的役割を果たす

数多くのビジネスチャンスが生まれているアジアは、成長著しい市場として、多国籍企業だけでなく、市場の拡大を目指すアジア系企業からも熱い視線を注がれています。シンガポールは、アジアのハブ的役割を果たすことで、これらの企業のグローバル化を支援。同時に、高付加価値で複合的な製造業や国際的なサービスを提供できる数少ない都市として、以下の活動に力を入れていきます。

- アジア市場のマーケティング、ブランド戦略、市場調査、マーケット情報等に関するリサーチ分野の企業群を形成し、消費者ビジネスの拠点としての地位を築く
- 多国籍企業を主要プレイヤーとすると同時に、ニッチな市場で活躍する中小企業のグローバル化を促進
- 製造業が国内経済に占めるシェアを20～25%にし、国際的な競争力を維持

■米ファーストフードチェーン大手、バーガーキング(BK)は、若年層をターゲットにしたコンセプトショップ1号店をシンガポールにオープンしました。既存店とは異なる内装を用いた店内では、定番メニューに加え、アジア市場向けの新メニューを開発、実験的に販売していきます。アジアの他店舗にも、順次投入していく計画です。

写真提供：Burger King



■中国のインターネット広告最大手、フォーカス・メディア (Focus Media) も域内外への事業拡大拠点を築くため、2009年にシンガポールに進出した企業の一つです。Jason Jiang 会長兼 CEO は「中国外への事業拡大を進める上で、シンガポールは理想的なロケーション。シンガポールを拠点に他のアジア諸国だけでなく欧米市場へのアクセスも可能だ。ESC はシンガポールが『アジアの人材都市』としての地位を確立していくことを提言している。シンガポールにはすぐに活用できる管理職の人材がそろっており、ESC の提言は我が社の域内外の事業を担当できる人材の育成を後押しするものになる」と述べています。

## 2. イノベーションの促進

「イノベーションの拠点」として、また「アイデアの商品化・事業化を促進する場所」として、研究・開発や、シンガポール内外の研究から生み出されたアイデアの商品化・事業化を実施します。ここでは次の活動に重点を置いています。

- 研究機関、民間企業、政府が一体となって革新的なソリューションを提供できるようカスタマイズされた体制づくり
- 将来のニーズを見据えた都市ソリューション拠点としての地位を確立。特に通信・IT技術を駆使した交通管理を含む都市交通や、エネルギー効率と管理、再生可能エネルギー、水およびゴミ管理の分野において、実証実験を促進し、国外へ輸出できるようなソリューションの開発

■水ビジネスでは、東レが公益事業庁(PUB)と共同で開始した水処理の実証実験をきっかけに、フュージョノポリスで研究開発センターを設立。シンガポールの水処理会社ハイフラックスがアルジェリアで手がける世界最大の海水淡水化プラントに、逆浸透(RO)膜を提供しています。

■半導体の分野でも、科学技術庁(A\*STAR)傘下のマイクロエレクトロニクス研究所(IME)が、「3次元(3D)TSVコンソーシアム」を立ち上げ、日系企業を含む14社と共同で3次元実装パッケージに利用されるシリコン貫通電極(TSV)の研究開発を実施しています。



ルノー・日産アライアンスとケッペル・エネルギーはEV車両と充電基盤に関する協力覚書を締結した(左から)Yam Ah Mee, Chief Executive, Land Transport Authority, Dr Ong Tiong Guan, Managing Director, Keppel Energy, Mr Lawrence Wong, Chief Executive, Energy Market Authority, Dr Beh Swan Gin, Managing Director, Economic Development Board

■都市ソリューションでは、電気自動車(EV)の実証実験で、日産自動車と仏ルノーの企業連合「ルノー・日産アライアンス」が地元企業との間にEV車両と充電基盤に関する協力覚書を締結し、共同で実験を進めています。また、次世代送電網の構築の第一歩として、政府機関のEDB、A\*STARなどが民間企業と共同でスマートグリッド技術の導入に向けた実証プロジェクト「Intelligence Energy System (IES)」を開始し、スマートなエネルギー利用を促進するソリューションづくりに着手しています。

## 3. 多様性のある人材の誘致・育成

アジアでリーダーシップを発揮できるような多様性のある人材の誘致・育成を目指し、以下の活動に力を入れていきます。

- 海外のトップ教育機関と連携してシンガポール人を対象とした様々なクラスやプログラムを提供
- 芸術・文化の拠点としての地位を確立。
- プログラム開発やマーケティング力を強化し、アジアの文化機関との連携を深め、アーティスト、学識者、技術者を招聘
- 世界中から一流の人材を誘致

■人材育成を戦略的に進めるため、人材開発省(MOM)は、シンガポール経営大学(Singapore Management University)と共同で人材育成力の強化を目的とした「人材リーダーシップ機関(Human Capital Leadership Institute)」を設立しています。

■芸能興行の促進の一環として、非居住の芸能人に対する源泉課税率を今後5年間15%から10%へ軽減することを2010年度予算案に盛り込んでいます。これにより日本や他の国からのアーティストへの関心が高まることが期待されます。

\*経済戦略委員会(ESC)提言(英文)は<http://www.esc.gov.sg>をご覧ください。